

# ま え が き

我が国は今、本格的な人口減少社会の到来や、少子・高齢化に伴う社会保障費の増大、あるいは地球環境問題など、多くの課題に直面しています。厳しい財政事情の下、今まで経験したことのないこれらの問題を前に、各種制度の抜本的な見直しはもとより、経済社会の構造的な変革が求められています。

また、地方にとりましても、今は大きな転換の時です。第二期地方分権改革の始動や道州制へ向けた動き、さらには、地域間の格差是正の問題など、地方税財政をめぐる様々な議論が重ねられる中で、これからの地方自治のあるべき姿が、個々の地方自治体ごとにも問われようとしています。

こうした中、本県におきましても、人口減少や少子・高齢化への対応をはじめ、中山間地域対策、暮らしの安心・安全対策、環境対策など、山積している諸課題の解決に全力で取り組み、県政に対する県民の皆様の御期待にお応えをしていかなければなりません。そして、今後の分権時代を生き抜くための新しい山口県のかたち、「住み良さ日本一の元気県」の実現を確かなものとしなければなりません。

その原動力となるのは、山口きらら博によって培われ、国民文化祭を通じて確実に高められてきた県民力であり、地域力です。私は、「県民が主役となる県政」、「市町村とともに歩む県政」を基本姿勢に、県づくりのキーワードである「自立・協働・循環」の下、この県民力、地域力をさらに大きく飛躍させ、3年後に迫った「おいでませ！山口国体」等の成功へとつなげながら、「住み良さ日本一の元気県づくり」を加速化していきたいと考えています。

また、これを支え、分権型社会に対応した自主的・自立的な行政運営を進めていくことができるよう、これまで築き上げてきた行財政基盤を強固にし、将来にわたって持続可能なものとするため、更なる行財政改革に積極的に取り組んでまいります。

時代は今、大きく変貌を遂げつつあります。私は、その行方をしっかりと見定め、山口県の確かな未来を築くため、本県の特性を最大限に生かしながら、県民一人ひとりの住み良さの向上や、多様で個性あふれる地域づくりに全力を尽くすとともに、その成果を確実に次代へ継承していく決意です。

さて、「山口県の財政」は、県財政の実態と県の主要施策について、県民の皆様方のご理解をいただくため、県財政の状況を年2回公表しているものです。

今回は、平成20年度当初予算及び平成19年度下期の財政状況並びに公営企業の業務の状況につきまして、その概要を報告いたしますので、県民の皆様方の深いご理解とより一層のご協力をお願い申し上げます。

平成20年5月31日

山口県知事 二 井 関 成